



令和7年3月14日

担当課	移住定住戦略課
担当者	松井
電話	073-435-1013
内線	2460

文部科学省「2040年を見据えて社会とともに歩む私立大学の在り方検討会議」の委員に就任しました

文部科学省は、地域における私立大学の役割や少子化を見据えた大学経営の在り方等について、具体的な方策を検討するため、「2040年を見据えて社会とともに歩む私立大学の在り方検討会議」を設置しました。

中央教育審議会の答申(令和7年2月21日)において、地方の大学の果たす役割が重要であるとされ、和歌山市の取組が評価を受けて、この度、本検討会議の委員に就任することになりました。

<発表の様子：第1回検討会議>

1. 本検討会議の目的等

- ① 私立大学の振興に向け、私立大学に期待される役割を明確化すること。
- ② ①の役割を果たすための具体的な方策等を検討すること。
- ③ 委員名簿は別紙のとおり。



2. 本市の主な発表内容

- ・ 誘致大学の卒業生は、約84%が県内に就職。このうち、約8割が女性。
- ・ 学生が社会の大きな力になり、地方における大学の必要性が高まっていること。

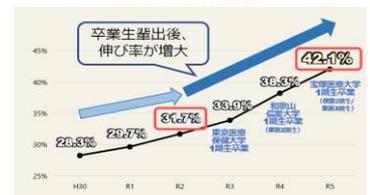
<発表内容(抜粋)>

和歌山市の取組 ふるさとで学び働けるまち

大学誘致の成果

誘致大学卒業生の
県内就職率(R5)
84.1%

市内大学卒業生の
県内就職率
約10%増加



3. 今後の本市からの提言(案)

- ・ 地方のエッセンシャルワーカーを育成する大学の重要性、専門・高度人材の養成
- ・ 地方の私立大学の役割・機能の見直し、地域への貢献度が評価される助成の在り方 等

4. 本検討会議の実施期間: 令和7年2月21日から令和8年3月31日まで

文部科学省ホームページ https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/132/index.html



2040年を見据えて社会とともに歩む私立大学の在り方検討会議 委員名簿(令和7年2月)

※氏名50音順、敬称略

アベ シュイチ 阿部 守一	長野県知事
イシカワ マサトシ 石川 正俊	東京理科大学 学長
イトウ コウヘイ 伊藤 公平	慶應義塾長
オオノ ヒロユキ 大野 博之	国際学院埼玉短期大学 理事長・学長
オオモリ アキオ 大森 昭生	共愛学園前橋国際大学 学長
オバナ マサヒロ 尾花 正啓	和歌山市長
カクタ ユウヒコ 角田 雄彦	弁護士、上智大学大学院法学研究科 教授
コウジ アキヨシ 小路 明善	アサヒグループホールディングス株式会社 取締役会長 兼 取締役会議長
タムラ シゲル 田村 秀	長野県立大学グローバルマネジメント学部教授
ツル マモル 鶴 衛	学校法人鶴学園 理事長・総長
ナカムラ カズヒコ 中村 和彦	国立大学法人山梨大学 学長
ヒロ タモツ 日色 保	日本マクドナルド株式会社 代表取締役会長
ヒラコ ユウジ 平子 裕志	ANAホールディングス株式会社 特別顧問
フクハラ タダヒコ 福原 紀彦	日本私立学校振興・共済事業団 理事長
ムラセ ユキオ 村瀬 幸雄	岐阜県商工会議所連合会 会長、 株式会社十六フィナンシャルグループ 取締役会長
モロズミ アキコ 両角 亜希子	東京大学大学院教育学研究科教授